



ASAHI University News Letter

vol.110
July 2017

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 入試広報部

2018年度入学者選抜方法決まる



穂積キャンパス中庭で学生・教職員が集う（「慶夢忌」にて）

「2018年度入学者選抜方法」が決定しました。朝日大学では、これからも教育・研究・医療の質の向上をめざし教職員全員がステークホルダーである在学生、高校生や保護者、あるいは地域社会の方々から「信頼される大学づくり」に邁進してまいります。

2018年度 朝日大学入学試験概要が決まる

「2018年度朝日大学入学者選抜試験」では、引き続き各学部の入試制度改革がなされ、「選ばれる大学、魅力ある大学」づくりがより一層進むこととなります。

2018年度入試では、高大接続改革の推進という観点から全学部で「記述式問題」を導入し、学力の三要素(①知識・技能 ②思考力・判断力 ③主体性・多様性・協働性)を多面的・総合的に評価することとしました。また、センター-plus方式においては、Ⅱ期、Ⅲ期を追加し、全ての一般入試で対応できるようにして、受験の機会

を拡大しました。さらに歯学部では、大学、短大、専門学校を卒業または卒業見込みで、歯科医師へ転向を志し、勉学意欲が高い方を対象とした「学士・社会人等特別選抜入試」を新たに設けました。



法学部(法学科)・経営学部(経営学科)

入試区分		募集人員		試験日
		法学部法学科	経営学部経営学科	
推薦	指定校	12名	10名	11月5日(日)
	一般Ⅰ期	25名	30名	11月5日(日)
	一般Ⅱ期			12月2日(土)
	スポーツⅠ期(A日程)			11月5日(日)
	スポーツⅠ期(B日程)			11月6日(月)
AO		12名	10名	10月~3月まで毎月1回 (1月を除く)
一般	I期	A日程	21名	1月25日(木)
				1月26日(金)
				1月27日(土)
	II期	B日程	35名	2月27日(火)
	III期			3月20日(火)
	センター-plus方式 I・II・III期	C日程		センター-plus方式 独自の試験は課さない
	大学入試 センター試験利用 I・II・III期			本学独自の 個別試験は課さない

保健医療学部(健康スポーツ科学科)

入試区分		募集人員	試験日
推薦	指定校	20名	11月5日(日)
	一般Ⅰ期		11月5日(日)
	一般Ⅱ期		12月2日(土)
	スポーツⅠ期(A日程)	40名	11月5日(日)
	スポーツⅠ期(B日程)		11月6日(月)
	スポーツ(Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期)		12月・2月・3月に実施
一般	I期	A日程	1月25日(木)
			1月26日(金)
			1月27日(土)
	II期	B日程	2月27日(火)
	III期		3月20日(火)
	センター-plus方式 I・II・III期	C日程	センター-plus方式 独自の試験は課さない
	大学入試 センター試験利用 I・II・III期		大学入試 センター試験利用 I・II・III期
			本学独自の 個別試験は課さない

歯学部(歯学科)

入試区分		募集人員	試験日
AO	I期	10名	(2次選考)10月7日(土)
	II期		(2次選考)3月20日(火)
推薦	指定校	30名	11月5日(日)
	一般Ⅰ期		11月5日(日)
一般	一般Ⅱ期	I期	12月2日(土)
	A日程		1月25日(木)
	B日程		1月26日(金)
	C日程		1月27日(土)
	II期	II期	2月27日(火)
	III期		3月20日(火)
	センター-plus方式 I・II・III期	センター-plus方式 独自の試験は課さない	センター-plus方式 独自の試験は課さない
	大学入試 センター試験利用 I・II・III期		本学個別試験 1月25日(木) 2月27日(火) 3月20日(火)
学士・社会人等 特別選抜		若干名	11月5日(日)
			2月27日(火)

保健医療学部(看護学科)

入試区分		募集人員	試験日
推薦	指定校	30名	11月5日(日)
	一般Ⅰ期		11月5日(日)
	一般Ⅱ期		12月2日(土)
一般	I期	A日程	1月25日(木)
			1月26日(金)
			1月27日(土)
	II期	II期	2月27日(火)
	III期		3月20日(火)
	センター-plus方式 I・II・III期	センター-plus方式 独自の試験は課さない	センター-plus方式 独自の試験は課さない
大学入試 センター試験利用 I・II・III期	I期	5名	1月25日(木)
	II期		1月26日(金)
	III期		1月27日(土)
大学入試 センター試験利用 I・II・III期	大学入試 センター試験利用 I・II・III期	本学個別試験 1月25日(木) 2月27日(火) 3月20日(火)	2月27日(火)

※このほか、帰国生徒入試(法・経営・歯)、外国人留学生入試(法・経営・歯)等があります。

※詳細は「朝日大学 受験生サイト」をご確認ください。

学生生活をサポートする奨学支援制度

「歯科医師」という夢をかなえるための教育システムと独自の奨学融資制度。

真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ「看護師」の養成を行う保健医療学部看護学科では、看護学科特別奨学金制度。

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科では、

今日のきびしい経済情勢下においても「だれもが同じスタートラインに立てるよう」充実した奨学支援制度を整備。

朝日大学は、独自の各種奨学支援制度を整備し、学生生活や生涯研修を万全な体制でサポートしています。

支援制度の詳細については、ホームページ、入試ガイド、学生募集要項などでご確認願います。

歯学部

[奨学融資制度](#)

[学資借入支援奨学金制度](#)

[短期海外研修制度](#)

[診療費補助制度](#)

[生涯研修事業\(CE\)](#)

保健医療学部 看護学科

[看護学科特別奨学金制度](#)

[看護師奨学金制度](#)

[短期海外研修制度](#)

[奨学融資制度](#)

[学資借入支援奨学金制度](#)

[診療費補助制度](#)



法学部・経営学部 保健医療学部健康スポーツ科学科

[学業奨励奨学金制度](#)

[スポーツ奨励奨学金制度](#)

[会計コース特別奨学金制度](#)

[修学支援奨学金制度](#)

[北海道・沖縄特別奨学金制度](#)

[資格取得支援奨学金制度](#)

[国際交流支援制度](#)

[奨学融資制度](#)

[学資借入支援奨学金制度](#)

[診療費補助制度](#)

OPEN CAMPUS 2017



歯学部

7月27日(木)・8月17日(木) 10:00～15:00

入試説明、実習体験、模擬授業、個別相談などを開催。歯学部生の一日を体験できます。

エコプロジェクト「Cool Biz」

朝日大学では2009年度から大友克之学長のもと、建学の精神に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト(地球温暖化防止策)」を展開しています。

6年前の東日本大震災をきっかけに、全国規模での省エネルギー対策が求められていることから、2017年度エコプロジェクト「省エネルギー対策実施項目」を策定し、教職員・学生が一丸となり省エネルギー対策に取り組んでいます。

法学部

7月30日(日)・8月20日(日) 13:00～16:00

実習体験、模擬授業、入試・奨学金説明、在学生との懇談などを開催。各学部の特長がよく分かるプログラムです。

経営学部

保健医療学部

詳細は「朝日大学 受験生サイト」をご確認ください。

故宮田慶三郎先生を偲び「慶夢忌」

朝日大学の創立者故宮田慶三郎先生の命日である5月22日、穂積キャンパス中庭にある故宮田慶三郎先生銅像前にて「慶夢忌」が行われました。宮田淳理事長をはじめ数多くの教職員や学生が黙祷と献花をし、皆で故宮田慶三郎先生が残された詩を朗読しました。

「慶夢忌」は、故宮田慶三郎先生のご功績ややさしいお人柄を偲ぶとともに、先生の残されたお言葉を心に刻み、建学の精神を再確認する機会として今年度より開催されました。



献花を行う代表学生



宮田淳理事長が挨拶



皆で宮田慶三郎先生の詩を朗読

「中国との絆」が語られる

岐阜県日中友好協会が主催している日本と中国との相互理解を深める交流会「ぎふ・中国くるぶ公開例会」が村上記念病院（岐阜市橋本町）で開催されました。

岐阜県下呂市出身で森ビル特別顧問の星屋秀幸氏が講師を務めた講演会では、「中国との絆 - わが人生の旅 - 」をテーマに自身の北京での語学留学や三井物産勤務時代における天津での駐在経験を踏まえ、「日中関係の改善のためには、民間レベルや若者の交流がもっとも大切である」と語られました。

なお、同協会の副会長を大友克之学長が、理事を森下伊三男副学長が務めています。

FD・SD研修会を開催

「FD・SD研修会」が、穂積キャンパスで開催され、教育職員・学生、岐阜県内の教育関係者（大学、高校、教育委員会）など約400名が真剣なまなざしで研修に取り組みました。

高大接続改革の展望

独立行政法人日本学術振興会理事長で前中央教育審議会会長の安西祐一郎先生を講師にお招きし、「高大接続改革の展望と大学の将来」をテーマに研修会が開催されました。安西先生からは、高大接続改革、大学入学希望者学力評価テスト（仮称）やアクティブラーニングなどに関するご講話をお聞きいただきました。



安西先生から大学の将来が語られる

日中友好のメッセージ

また、中華人民共和国駐名古屋総領事館の鄧偉総領事を講師にお招きし、「日中友好のメッセージ」と題した研修会が開催されました。鄧総領事からは、「中日両国には二千年以上の友好の歴史がある。将来を担う青少年の交流を活発にすることで、相手国への理解を深めてほしい」と呼びかけられました。

講演が終了すると、大学院、学部や留学生別科で学ぶ中国からの留学生たちが、鄧総領事を囲みにこやかに歓談。記念写真を撮影していました。



鄧総領事から両国関係発展へのメッセージが語られる

商品開発塾を開講

マーケティング研究所が、岐阜県内の商業高校などで組織される岐阜県商業教育研究会との共催により「ヒットメーカーに学ぶ！ - 商品開発塾 - 」を穂積キャンパス6号館講義室で開講しました。

X-TANKコンサルティング（株）代表取締役の伊藤嘉明氏を講師に迎えた今回の開発塾では、「先の見えない時代に必要な人材力」と題した講演があり、高校教員や教職員・学生ら約250名が熱心にヒットメーカーのビジネスモデルを学びました。

White Coat Ceremony 2017

歯学部登院式を開催

歯学部5年生の登院式(白衣授与式)が、学生の父母も参加し穂積キャンパス6号館大講義室で盛大に行われました。この登院式は、5年生が本学附属病院で診療参加型臨床実習を始めるにあたり、本格的な実習教育への第一歩を踏み出す節目として毎年この時期に開催されています。

登院式では、はじめに全員で学歌を斉唱。江尻貞一歯学部長からの告辞に引き続き、倉知正和副学長、田村康夫副学長、永原國央附属病院長らが白衣を代表学生に授与、学生たちは登院式を迎える歯科医師を志す気持ちを新たにしていました。

医療人としての決意表明

その後、学生代表の加藤裕大さんから「医療人としての自覚を持ち、真摯に実習に取り組みます」との決意があり、倉知副学長と永原附属病院長から学生に対して激励の言葉が述べられました。



登院式を終え記念撮影

海外から客員研究員

建学の精神に基づく教育方針

建学の精神に基づき、海外姉妹校であるメキシコ州立自治大学からの客員研究員JORGE MENDEZ SERRANO氏とIRANIA JASSO RUIZ氏が、大友克之学長を表敬訪問されました。

共同研究に取り組む

JORGE MENDEZ SERRANO氏は、歯学部教授で歯科矯正学を専攻、IRANIA JASSO RUIZ氏は、歯学部教授で老年歯科学と保存修復学を専攻されており、歯科補綴学分野都尾元宣教授の指導の下で3ヵ月間共同研究に取り組みました。



SERRANO教授、大友学長(中央)、RUIZ教授

教育懇談会を開催

建学の精神に基づく教育方針を紹介

法学部・経営学部・保健医療学部の教育懇談会が穂積キャンパス6号館大講義室で開催されました。



父母たちが教育方針等の説明を熱心に聞く

はじめに全体会があり、その後各学部の懇談会では、学部長から「建学の精神」に基づく教育方針の解説を交えた挨拶、引き続き学部・学科の特色、学生生活全般に関わる事項、入学時から継続的に行われる就職支援活動などの説明がなされ、活発な質疑応答を経て全体の懇談会を終了しました。

また、「個別懇談」では、指導教員と父母とが、キャンパス内での学生の様子や学業成績、就職活動状況などについて個別面談を行い、実り多い教育懇談会となりました。

大学、学生、父母が共通認識

「未来の歯科医師」育成に取り組む歯学部では今秋に、学生、父母及び大学の三者が共通の理解と認識をもち「歯科医師」を目指すための「教育懇談会、三者面談」の開催(5・6年生は今春に開催済み)が予定されています。

大垣桜高校と高大連携

岐阜県立大垣桜高等学校と経営学部ビジネス企画学科が連携し、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)推進事業として「商品開発」の授業を開講しました。



中畠千弘マーケティング研究所長が講師となる

今回の連携は、同校が文部科学省スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定を受け、高度な調理知識・技術と豊かな感性を身に付けたグローバルクリエーターの人材育成を目指し、商品開発の教育研究に取り組む本学と高大連携を行うことで実現したものです。

今後、地域食材(岐阜県産)の米粉を使ったスイーツ、鮎を使ったお弁当の商品開発について研究が進められ、商品化を目指すこととなります。

お知らせコーナー

第二の故郷、瑞穂市を応援してください。



瑞穂市では、ふるさと応援寄附報奨事業(ふるさと納税に対し記念品等を贈呈)により瑞穂市の魅力や特産物をご紹介しています。ご縁があつて瑞穂市内の大学の関係者となられた皆さまに瑞穂市を大切なふるさと想い、ご愛着をおもちいただければ幸甚です。

瑞穂市ふるさと応援寄附報奨事業では、瑞穂市以外にお住まいの個人の方が瑞穂市に1万円以上のご寄付をされますと寄付金額に応じて135品以上のなかからお好きな記念品等をお選びいただけます。



瑞穂市マスコットキャラクター
かきりん

詳しくは、こちらのサイトをご覧ください。

<http://www.city.mizuho.lg.jp/furusato>



むし歯予防のポスター展

「歯と口の健康週間」イベント開催

歯学部附属病院及び村上記念病院では、「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」に歯と口の健康を呼びかける活動を、毎年実施しています。

穂積キャンパス内の附属病院では、瑞穂市内の小学校7校からポスターを募集し、恒例となっている「歯と口の健康を呼びかけるポスター展」を開催しました。

むし歯予防のメッセージ

小学生の描いたポスターには、口を大きく開け健康的な歯が並んだ絵や、「毎日歯をみがこう」とむし歯予防などを呼びかけるメッセージが添えられた絵など、カラフルな色彩に児童の感性豊かな表現方法がちりばめられていました。



小学生のポスターはどれも力作ぞろい

大田昌秀元沖縄県知事 逝去

元沖縄県知事・参議院議員で沖縄平和総合研究所理事長の大田昌秀先生が、6月12日(月)に92歳の生涯を閉じられました。



先生は早稲田大学卒業後、アメリカ留学を経て琉球大学法文学部教授(ジャーナリズム論)に。その後、沖縄県知事や参議院議員などを歴任され、生涯にわたり平和行政の推進や沖縄基地問題の解決に取り組まれました。

また、朝日大学でも数度にわたり、沖縄の歩みを通じて平和の大切さをご講演いただきました。

大田先生の多大なる功績を偲びつつ、心より追悼の意を表します。

沖縄県人会開催



代表をつとめる比嘉さんが新入生を紹介

沖縄県人会総会が穂積キャンパス5号館講義室で開催され、約40名の新入生が入会した総会には、沖縄県出身学生や教職員ら約150名が出席しました。

同会では、はじめに山本英弘学生部長から、歓迎の言葉と県人会の趣旨や今後の活動方針などが述べされました。その後、本会の代表を務める比嘉太誠さん(ビジネス企画3年)が新入生一人ひとりに沖縄の方言を交え自己紹介をしてもらうなど、終始なごやかな雰囲気で会員同士の親睦を深めていました。

留学生歓迎パーティー

海外から留学生を迎える

留学生別科日本語研修課程(4月入学生)の歓迎パーティーが6号館食堂で開催されました。パーティーでは、大友克之学長、横山博信



新入生が日本語で合唱

別科長をはじめとして教職員が新入生たちをあたたかく迎え、乾杯の発声後には皆にこやかな表情で楽しく歓談していました。

ベトナム、中国、ミャンマー、モンゴルからの今春の新入生24名は、これから1年間、学部・大学院への進学をめざし、日本語や日本文化を中心に学習することとなります。

めざせ東京オリンピック 強化指定チーム決定!!

岐阜県清流の国推進部から、体育会の8競技団体が「2017年度強化指定クラブ」として認定されました。

2005年度から始まった強化指定制度は、ぎふ清流国体でみごと実を結び「天皇杯・皇后杯」の獲得をはたしました。県では、2020年東京オリンピックや国民体育大会に向け選手強化をめざすと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを輩出するため、強化指定制度が継続実施されています。

強化指定クラブ	対象
ホッケー部	成年男子
自転車競技部	成年男子
ハンドボール部	成年男子
卓球部	成年男子・女子
ラグビー部	成年男子
フェンシング部	成年男子・女子
相撲部	成年男子
ボウリングチーム(ブルーフラッシュ)	成年男子・女子

テニス 国際大会の運営に参画

国内有数の国際大会として位置づけられ、今回で21回目となる「カンガルーカップ国際女子オープンテニス2017」が長良川テニスプラザ(岐阜市)で開催されました。

今大会では、体育会と歯学部の硬式庭球部部員らがスタッフとして大会運営に参画。ボーラーとしての部員たちの活躍は国際テニス連盟から「Excellent」の最高評価を受け、質の高い国際大会運営の一助となりました。



ボーラーとして活躍した硬式庭球部部員たち

ラグビー 東海セブンズを制す

体育会ラグビー部は、愛知学院大学ラグビー場で開催された「東海学生セブンズ2017」においてみごと優勝に輝き、7月に聖地秩父宮ラグビー場で開催の「JAPAN SEVENS 2017」へ出場。予選プールで強豪チームの明治大学や神戸製鋼を撃破し、7位の成績を収めました。

フェンシング 大学王座決定戦へ出場

体育会フェンシング部は、知多市民体育館ほかで開催された「第67回関西学生リーグ戦」で、男子が「サーブル・エペ」の団体2種目において優勝、フルーレ団体で3位となり、4年ぶりの総合優勝に輝きました。一方、女子は「サーブル」で団体優勝、フルーレ・エペ団体では惜しくも3位となり総合で準優勝を収めました。

この結果、男女ともに「全日本王座決定戦」への出場が決まりました。



総合優勝に輝いた男子

自転車競技 西日本選手権で優勝ラッシュ!

体育会自転車競技部は、「第37回西日本学生選手権大会」(大阪府岸和田競輪場)に出場。男女10種目で争われた同大会で、1kmTT、500mTT、ケイリン、4kmIP、3kmIP、チームスプリントの計6種目で優勝をはたすとともに、合計で32の入賞数を数え大いに大会を盛り上げました。

また、トップレベルのプロ・アマが集う国内最高峰レース「第86回全日本選手権大会」(宮城県大和競技場)に出場し、1kmTTで4位、スプリントとチームスプリントで7位の成績を収めました。



西日本選手権: チームスプリントで優勝

硬式野球 「東海地区大学野球岐阜リーグ春季新人戦」優勝

卓 球 「東海学生リーグ」女子準優勝、男子3位

相 摶 「第18回全国選抜女子相撲大会」女子中量級:準優勝
「第67回西日本学生相撲新人選手権」
団体戦:準優勝、個人戦:3位

ホッケー 「東海学生春季ホッケーリーグ」優勝

エアライフル 「中部学生ライフル射撃選手権」男子エアライフル立射:優勝

NEWS

2016年度 事業報告及び決算

2016年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が5月25日(木)開催の理事会と評議員会において全会一致で承認されました。
2016年度事業報告及び決算は以下のとおりです。

事業報告

1 優秀な学生の受け入れ（2017年度入学生に係る募集計画）

各学部・学科のアドミッションポリシーや求める学生像、受入方針等を、受験生や保護者に明確にするとともに、本学の教育・研究活動の質の保証と向上への取組や魅力を効果的な広報活動等を通じてアピールし、朝日大学ブランドの向上に努めました。その結果、本年4月に開設した保健医療学部健康スポーツ科学科をはじめ、全学部で募集人員を充足することができました。

2 教育・研究活動の質の保証と向上

効果的な教育・指導を行うためICTの積極的活用による教育・指導方法の改善とともに、カリキュラムポリシーに沿った教育課程の編成、アイプロマポリシーで求める学士力を確保するための卒業認定の厳格化などに一層の徹底を図りました。

法学部、経営学部では、初年次教育の充実、資格取得希望者への支援に一層努めた結果、平成28年公認会計士試験（論文式試験）において8名の合格者を誕生させたなど、着実に実を結びました。歯学部では、参加型臨床実習の推進により臨床力の強化を図り、海外協定校との交流やCEプログラムと連携した大学院教育の充実により、総合的な歯科医師としての資質向上を図ることができました。

3 地域社会・ステークホルダー等への貢献及び連携

瑞穂市をはじめ近隣地域での公開講座の開催や、本学の市民相談室などを通じて、地域住民へ、本学の有する「知」の提供を行いました。また、高校への出張講座、英語弁論大会や、岐阜県弁護士会との協力の下、地元中学生を対象としたジュニアロースクールの開催など、地域社会との緊密な連携を図りました。

附属病院、PDI岐阜歯科診療所及び附属村上記念病院は、学生の臨床力強化、医の倫理等を学ばせる教育病院としての役割とともに、地域の医療拠点として、高度で先進的な医療の提供により地域住民の方々の健康の維持・増進に努めました。

4 産業界・他大学・自治体との連携

本学の産学官連携ポリシーに基づき、企業・大学・自治体と連携し、実務家教員による授業、インターンシップ、共同研究や受託研究等のほか、姉妹校である明海大学及び国立大学法人三重大学との大学院レベルの学生交流や共同FD・SDなど多岐にわたる分野で連携を深めてまいりました。

岐阜県北方警察署、瑞穂市、(独)日本スポーツ振興センター、(公財)岐阜県体育協会、(公財)瑞穂スポーツガーデン、瑞穂市商工会との連携協定に基づく、地域の防犯活動やスポーツ活動の推進、特産品開発事業等も実施しました。

5 國際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

学生に国際感覚を身に付けさせるため、歯学部では、アメリカをはじめ5か国9大学との間で学生の短期海外研修派遣及び受け入れによる相互交流を、法学部、経営学部では、アメリカでの語学研修、ベトナム及び韓国での短期海外研修を、保健医療学部では、アメリカでの短期海外研修を実施しました。

英語弁論大会や英語教育研究セミナー実施など、地域の国際化にも努めました。

6 学生支援対策

学業奨励やスポーツ奨励等の多様な奨学金による経済的支援、スクールバスの運行や附属病院の診療費補助等による生活支援、留学生への住居支援及び就職支援の強化とともに、学生相談室に専門員を置き、学生の心のケアにも努めました。

就職支援に関しては、協力企業を対象とした講演と懇親の会や就職セミナーの開催など学生に対する就職指導を継続して実施しました。さらに、インターンシップの拡充などキャリア教育の一層の充実に努めました。

7 社会人の学び直し支援

明海大学との連携によるCE事業において、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)とのジョイントコースの更なる充実やコースプログラムの再編成など、高度で専門的な技術や理論を必要とする歯科医師の要請に応えてまいりました。

また、グローバル化が進む中でインターナショナルな職業人として適確に外国人に対応・対処することができる能力を養う実践ビジネス英会話プログラム等を開講し、地域住民への生涯学習の支援に取り組みました。

8 施設・設備の充実

建物、附属設備等について計画的に改修工事を実施するとともに、教育研究機器や医療機器も順次更新を進め、学生の修学環境や医療環境の充実を図りました。

文部科学省の「教育研究活性化整備事業」や「施設整備費補助金」を活用し、「出欠情報管理システム・学生カルテシステム」及び「セルフラーニング支援のための講義自動録画システム」を導入し、教育充実のための整備を図りました。

9 法人運営の基盤強化

法人運営の基盤の強化のためには、安定した財務基盤が必要不可欠です。そのため学生募集に全力を挙げるとともに、安定的な医療収入の確保に努め、その一方できめ細やかな経費節減を図り、バランスのとれた収支の維持に努めました。

資産運用については、長期的視点に立ち、「安全かつ確実」を基本として運用を行った結果、2016年度も目標を大きく上回る収益を確保することができました。

第46期決算報告書(2016年度)

資金収支計算書

単位:円

収入の部	支出の部
学生生徒等納付金収入 4,443,342,830	人件費支出 8,367,036,353
手数料収入 46,904,246	教育研究経費支出 5,962,637,760
寄付金収入 5,050,000	教育研究経費 2,172,665,373
補助金収入 962,813,666	医療経費 3,789,972,387
資産売却収入 20,549,800,974	管理経費支出 650,717,089
付随事業・収益事業収入 108,194,780	施設関係支出 931,033,147
医療収入 9,421,500,375	設備関係支出 531,456,332
受取利息・配当金収入 5,134,232,619	資産運用支出 32,224,086,250
雑収入 186,904,241	その他の支出 12,213,937,446
前受金収入 636,394,160	資金支出調整勘定 △ 1,353,924,364
その他の収入 19,541,487,241	翌年度繰越支払資金 5,790,059,285
資金収入調整勘定 △ 2,194,256,916	支出の部合計 65,317,039,298
前年度繰越支払資金 6,474,671,082	
収入の部合計 65,317,039,298	

事業活動収支計算書

単位:円

事業活動収入の部		事業活動支出の部	
学生生徒等納付金	4,443,342,830	人件費	8,234,028,919
手数料	46,904,246	教育研究経費	6,902,622,785
寄付金	13,252,747	教育研究経費	2,860,668,378
経常費等補助金	840,775,666	医療経費	4,041,954,407
付随事業収入	53,689,141	管理経費	646,525,870
医療収入	9,421,500,375	徴収不能額等	12,448,061
雑収入	186,904,241	教育活動支出計	15,795,625,635
教育活動収入計	15,006,369,246	教育活動収支差額	△ 789,256,389
事業活動外収入の部		事業活動支出の部	
受取利息・配当金	5,134,232,619	事業活動支出の部	0
その他の教育活動外収入	54,505,639	教育活動外支出計	0
教育活動外収入計	5,188,738,258	教育活動外収支差額	5,188,738,258
経常収支差額		教育活動外収支差額	5,188,481,869
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
受取利息・配当金	5,134,232,619	事業活動支出の部	0
その他の教育活動外収入	54,505,639	教育活動外支出計	0
教育活動外収入計	5,188,738,258	教育活動外収支差額	5,188,738,258
経常収支差額		教育活動外収支差額	5,188,481,869
事業活動収入の部		事業活動支出の部	
資産売却差額	297,728,547	資産処分差額	1,573,677,683
その他の特別収入	128,668,803	その他特別支出	692,776
特別収入計	426,397,350	特別支出計	1,574,370,459
		特別収支差額	△ 1,147,973,109
基本金組入前年度収支差額			3,251,508,760
基本金組入額合計			△ 7,701,636,482
当年度収支差額			△ 4,450,127,722
前年度繰越収支差額			△ 2,778,270,749
翌年度繰越収支差額			△ 7,228,398,471

貸借対照表

2017年3月31日 単位:円

資産の部		負債の部	
固定資産 155,993,214,870		固定負債 4,138,739,851	
有形固定資産 26,512,986,089		流動負債 2,131,203,524	
土地 11,433,876,271		負債の部合計 6,269,943,375	
建物 9,703,515,466		純資産の部	
図書 3,211,594,596		基本金 164,648,331,402	
その他有形固定資産 2,163,999,756		第1号基本金 45,836,831,402	
特定資産 121,746,239,851		第2号基本金 15,000,000,000	
第2号基本金引当特定資産 15,000,000,000		第3号基本金 102,607,500,000	
第3号基本金引当特定資産 102,607,500,000		第4号基本金 1,204,000,000	
退職給与引当特定資産 4,138,739,851		繰越収支差額 △ 7,228,398,471	
その他の固定資産 7,733,988,930		翌年度繰越収支差額 △ 7,228,398,471	
流動資産 7,696,661,436		純資産の部合計 157,419,932,931	
資産の部合計 163,689,876,306		負債及び純資産の部合計 163,689,876,306	

*詳細は、本学webサイト (http://www.asahi-u.ac.jp/info/f_jigyou.html) をご覧ください。